

# mitsubishi

## LAN 制御 UTILITY

### 操作説明書（LVP-XD250/LVP-XD280 用）

#### もくじ

1. はじめに .....	2
1.1. ネットワーク機能を使う前の準備 .....	2
1.2. 機能と特徴 .....	2
1.3. 動作環境 .....	2
2. セットアップ .....	4
2.1. ProjectorView Global+ のインストール .....	4
2.2. ProjectorView Global+ を削除する場合は（アンインストール） .....	5
2.3. 接続 .....	6
3. メイン画面について .....	7
3.1. システム設定をする .....	9
4. プロジェクターを登録する .....	10
4.1. プロジェクターを ProjectorView Global+ に登録する .....	10
4.2. プロジェクターの IP 設定を変更する場合は .....	13
4.3. プロジェクターの設定を変更する場合は .....	13
4.4. プロジェクターの登録を削除する場合は .....	15
5. プロジェクターを操作する .....	16
5.1. リモートコントローラーを使って操作する .....	16
5.2. プロジェクターの状態を確認する .....	17
6. スケジュールを設定する .....	18
6.1. プロジェクターのグループを作成する .....	18
6.2. グループの設定を変更する場合は .....	19
6.3. グループを削除する場合は .....	20
7. メールを設定する .....	21
7.1. メールサーバーと接続する .....	21
7.2. メールの設定を行う .....	21
7.3. テストメールを送信する .....	21
8. ProjectorView .....	22
8.1. 主な機能 .....	22
8.2. ProjectorView を起動する .....	22
8.3. プロジェクター情報を設定する .....	24
8.4. パスワードを設定する .....	26
8.5. ネットワーク設定を初期化する .....	26
9. Visual PA（対応プロジェクターのみ） .....	27
9.1. Visual PA を起動する .....	27
10. Telnet による設定をする（対応プロジェクターのみ） .....	28
11. PJLink .....	29
11.1. PJLink について .....	29
12. その他 .....	31
12.1. 故障かな？と思ったときは .....	31
12.2. 対応プロジェクターについて .....	31

# 1. はじめに

## 1.1. ネットワーク機能を使う前の準備

- アプリケーション S/W 「ProjectorView Global+」 のセットアップ
- プロジェクター (本機) の IP アドレス設定
- Telnet(対応プロジェクターのみ)、もしくは ProjectorView のセットアップによる各種設定 (パスワード設定 / メール機能設定 / 表示言語設定 / PJLink 認証設定)

プロジェクターの IP アドレス、パスワード設定、PJLink 認証設定はプロジェクター本体でも設定できます。詳細については、プロジェクター本体の取扱説明書のネットワーク設定メニューをご参照ください。

### <注>

- 本アプリケーションの表示言語の初期設定は英語になっております。日本語表示でお使いになる場合、表示言語設定を日本語に設定してください。表示言語設定については、「3.1. システム設定をする」をご参照ください。

## 1.2. 機能と特徴

- 最大 200 台のプロジェクターをリモートコントロールできます。
- プロジェクターの IP アドレス等を設定できます。
- グループに複数のプロジェクターを登録して、一括操作できます。
- 接続プロジェクターの各種状態を監視できます。
- グループごとに、電源 ON/OFF のスケジュールを設定できます。
- 電源 ON/OFF スケジュールは、曜日ごとに設定できます。
- 盗難検知対象に設定したプロジェクターとの通信不能時に、指定したアドレスに警告メールを出すことができます。
- Web ブラウザーで、プロジェクターを 1 台単位で制御できます。
- プロジェクター本体に警告 / 異常状態が発生した場合、指定したアドレスに警告メールを自動送信し、不具合内容を確認できます。
- 動作中のプロジェクターの画面上にメッセージが表示できます。
- プロジェクター制御用の標準プロトコルである PJLink に対応しています。

## 1.3. 動作環境

- 対応 OS  
Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
- CPU  
Pentium II 233MHz 以上を推奨
- メモリ  
128MB 以上を推奨
- HDD 空き容量  
32MB 以上を推奨
- Web ブラウザー (ProjectorView 使用時)  
Internet Explorer Ver.6.0/Ver.7.0 を推奨  
(Java Plug-in<sup>\*1</sup> がインストール済みで Java Script を有効に設定していること)

### \*1 Java Plug-in のインストール方法

- (1) Sun Microsystems 社の JAVA ダウンロードサイト (<http://java.sun.com/javase/ja/6/download.html>) より、JRE6 をダウンロードします。  
(上記、URL でダウンロードできない場合は、検索サイトで “JRE6 ダウンロード” を検索し、ダウンロードサイトに移行してください。)
- (2) 実行ファイルを実行します。
- (3) インストール完了後に、[ スタート ] → [ コントロールパネル ] → [ Java Plug-in ] を選択して、キャッシュを無効に設定してください。

## 1. はじめに

---

Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
(Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。)

Pentium は、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

PJLink は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA) の日本、米国その他の国や地域における出願商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

なお、本文中では "®" マークや "TM" マークは明記していません。

- Windows 2000 は、Microsoft Windows 2000 Professional の略称として表記しています。
- Windows XP は、Microsoft Windows XP Home Edition/Professional の略称として表記しています。
- Windows Vista は、Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate の略称として表記しています。

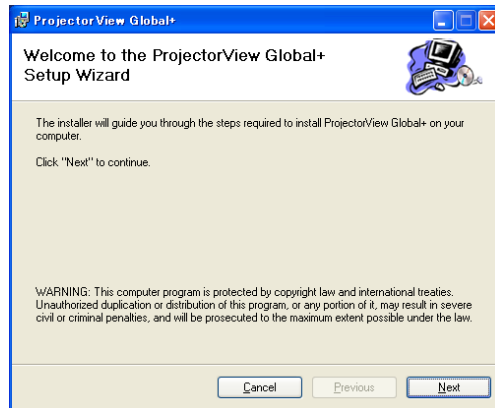
## 2. セットアップ

### 2.1. ProjectorView Global+ のインストール

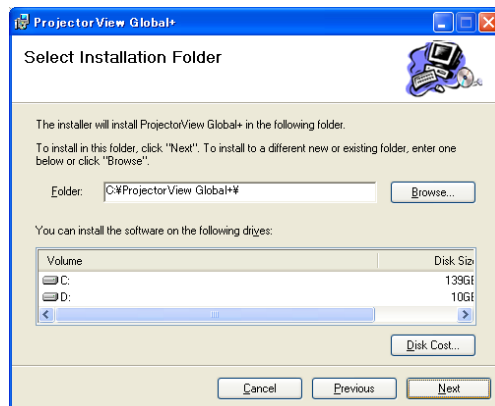
インストールする前に、必ず CD-ROM 内の「ReadMe」をご覧ください。

付属 CD-ROM の Tools フォルダ内にある ProjectorView Global+.msi をコンピューターのハードディスクにコピーしてください。

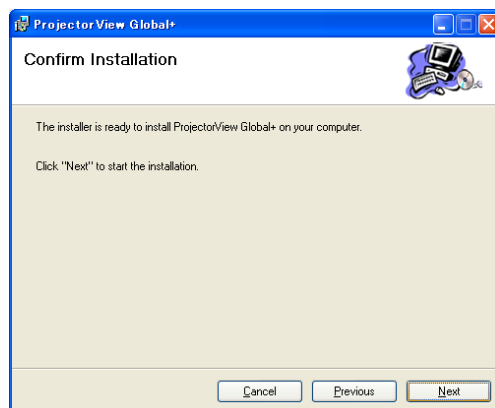
- ① "ProjectorView Global+.msi" をダブルクリックし、ProjectorView Global+ のインストーラーを起動する
- ② セットアップウィンドウが表示されるので、[Next] をクリックする



- ③ インストールするフォルダを選択し、[Next] をクリックする



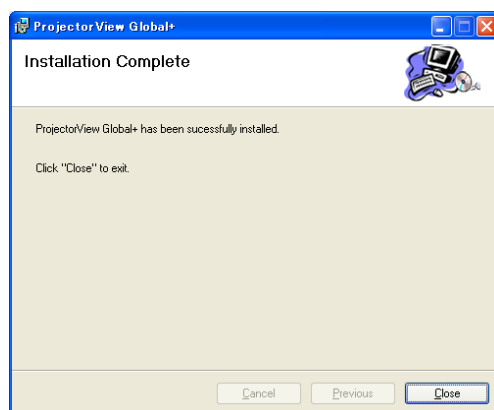
- ④ [Next] をクリックする



- インストールが開始されます。

## 2. セットアップ

### ⑤ インストールが完了したら、[Close] をクリックする

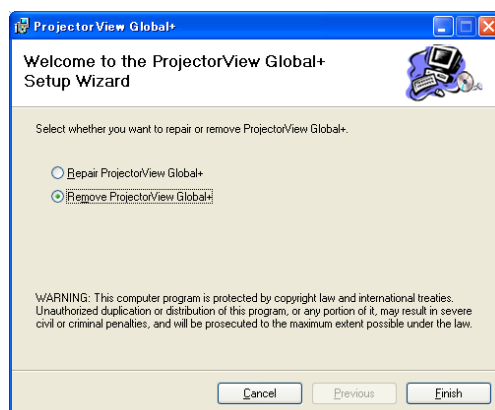


## 2.2. ProjectorView Global+ を削除する場合は（アンインストール）

<注>

- ProjectorView Global+ をアンインストールする場合は、事前に ProjectorView Global+ を終了しておいてください。起動したままでは、正常にアンインストールできません。

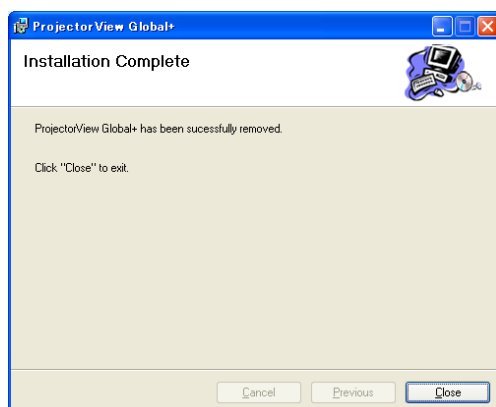
### ① "ProjectorView Global+.msi" をダブルクリックし、ProjectorView Global+ のインストーラーを起動する



### ② "Remove ProjectorView Global+" を選択し、[Finish] をクリックする

- アンインストールが開始されます。

### ③ アンインストールが完了したら、[Close] をクリックする



- ログや設定ファイルは自動的に削除されませんので、手動で削除してください。

## 2. セットアップ

### 2.3. 接続

ProjectorView Global+ をインストールしたコントローラー PC とプロジェクターを、市販の LAN ケーブルで接続してください。

複数のプロジェクターを接続する場合には、市販のハブなどを使用して接続してください。

- コントローラー PC には、LAN 端子が必要です。
- LAN ケーブルは、カテゴリ 5 対応、100BASE-T 対応のものをご使用ください。  
接続例 1 の場合はクロス結線の、接続例 2 の場合はストレート結線の LAN ケーブルをご使用ください。  
(接続例 3 の場合は、ルーターの取扱説明書をご確認ください。)
- 静電気を帯びた手で LAN 端子にふれると、静電気の放電により故障の原因となることがあります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部分には、触れないようにしてください。
- プロジェクターは、最大 200 台まで登録できます。

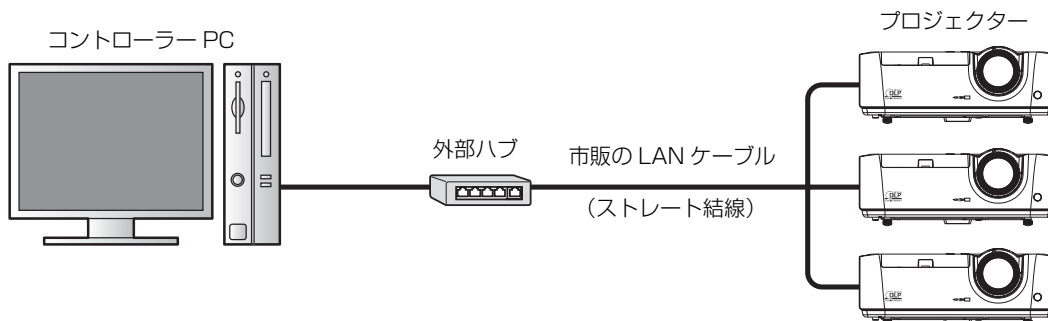
#### <注>

- プロジェクターのスタンバイモードの設定により、LAN 機能が利用できないことがあります。LAN 機能を有効にするためには、ご使用のプロジェクターの取扱説明書を参照の上、設定を変更してください。

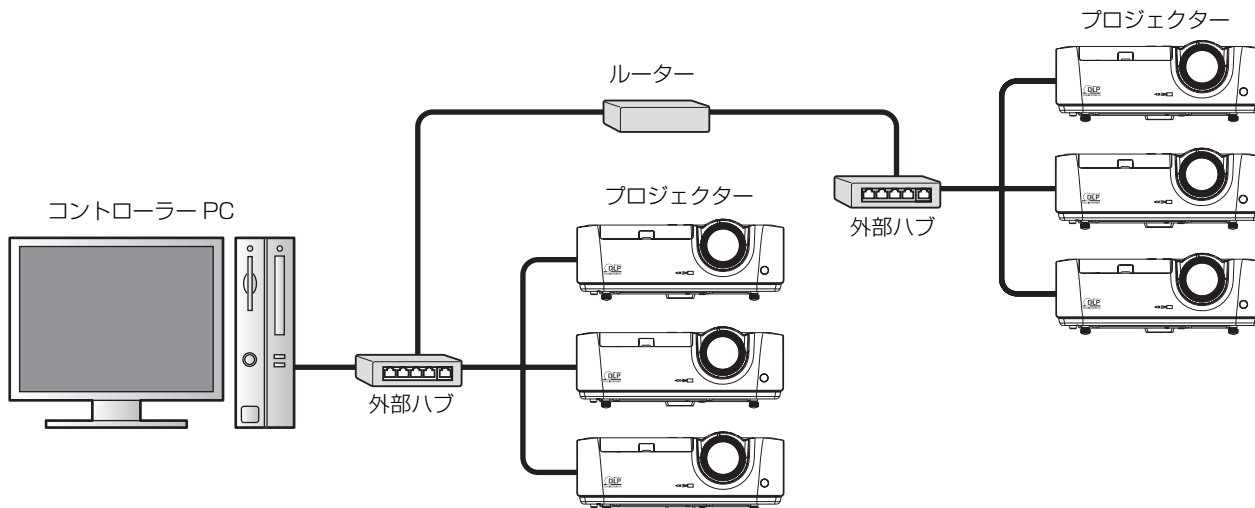
#### 接続例 1



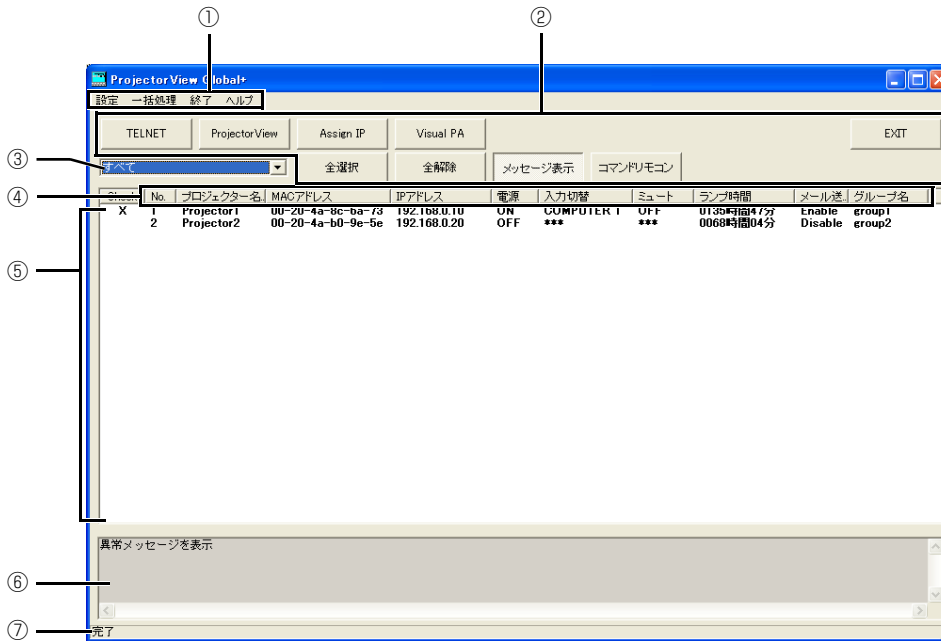
#### 接続例 2



#### 接続例 3



# 3. メイン画面について



- ① メニューバー
  - 設定  
一括処理  
終了  
ヘルプ

プロジェクターやグループの新規登録・編集、メール設定、検索範囲設定、システム設定などの各種設定が行えます。  
 プロジェクターの自動検索や、プロジェクターの状態の再取得を行います。ProjectorView Global+ を終了します。ただし、プロジェクターの自動検索中や状態取得中は終了できません。メイン画面右上の ボタンをクリックすると状態取得中でも強制終了できますが、Windows の警告メッセージが出ます。  
 バージョン情報を表示します。
- ② ツールバー
  - TELNET  
ProjectorView  
Assign IP  
Visual PA  
全選択  
全解除  
メッセージ表示  
コマンドリモコン  
EXIT

Telnet による各種設定を行います。(対応プロジェクターのみ)  
 パスワード設定／ProjectorView 表示言語設定／LAN 制御設定／PJLink 認証設定が行えます。詳しくは 28 ページをご覧ください。  
 Web ブラウザーを用いてプロジェクターを 1 対 1 で制御できます。また、プロジェクターに異常が発生した場合、異常状態の詳細を表示します。詳しくは 22 ページをご覧ください。  
 プロジェクターの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。DHCP による自動割当もしくは手動での直接入力により設定します。  
 接続された全プロジェクターに対して、画面上に任意の文字列を表示させます。(対応プロジェクターのみ) 詳しくは 27 ページをご覧ください。  
 現在プロジェクターリストに表示されている全プロジェクターを選択状態にします。  
 現在プロジェクターリストに表示されている全プロジェクターを未選択状態にします。  
 エラーメッセージ表示欄内のメッセージの表示 / 非表示を指定します。  
 プロジェクターを操作するためのコマンドリモコンウィンドウを表示します。プロジェクターの状態の再取得、電源の ON/OFF、入力切替、ミュート状態の ON/OFF が行えます。  
 ProjectorView Global+ を終了します。ただし、プロジェクターの自動検索中や状態取得中は終了できません。メイン画面右上の ボタンをクリックすると状態取得中でも強制終了できますが、Windows の警告メッセージが出ます。

### 3. メイン画面について

---

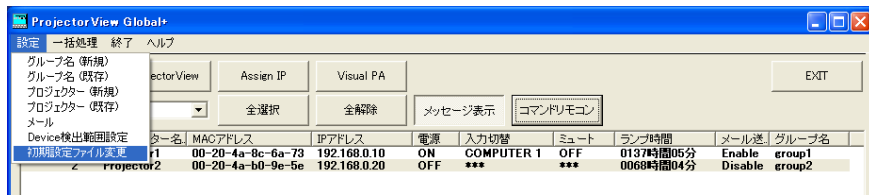
- ③ グループ選択プルダウンメニュー
- プロジェクターのグループを選択します。"全て"を選択すると、登録された全プロジェクターが表示されます。"未設定"を選択すると、グループに設定されていないプロジェクターが表示されます。
- ④ ステータスタグ
- プロジェクターのプロパティとステータスを示します。  
各タグボタンをクリックすると、リストを並べ替える（ソートする）ことができます。
- ⑤ プロジェクターリスト表示欄
- 選択したグループに所属しているプロジェクターをリスト表示します。  
また、プロジェクターのステータスも表示します。  
プロジェクターの状態により、下記のように表示の色が変わります。
- 黒色：通常時
  - 赤色：プロジェクター異常時（→ ProjectorView で異常内容を確認してください。通信できない場合は、「12.1. 故障かな?と思ったときは」をご覧ください。）
  - 黒色(背景 - 黄)：ランプ寿命警告時
  - 白色(背景 - 赤)：盗難検知対象に設定したプロジェクターとの通信不能時（→盗難の可能性があるので、確認してください。）
  - 灰色：通信不能時
  - 青色：手動で登録されたが、自動検索による検出が行われていないプロジェクター
- ⑥ エラーメッセージ表示欄
- プロジェクターとの通信時に検出されたエラーメッセージを表示します。  
ツールバーの [メッセージ表示] をクリックすると、表示を消すことができます。
- ⑦ 動作状態表示欄
- ProjectorView Global+ の動作状態を示します。リモートコントロールやスケジュールなどによる通信処理中などの動作状態を示します。



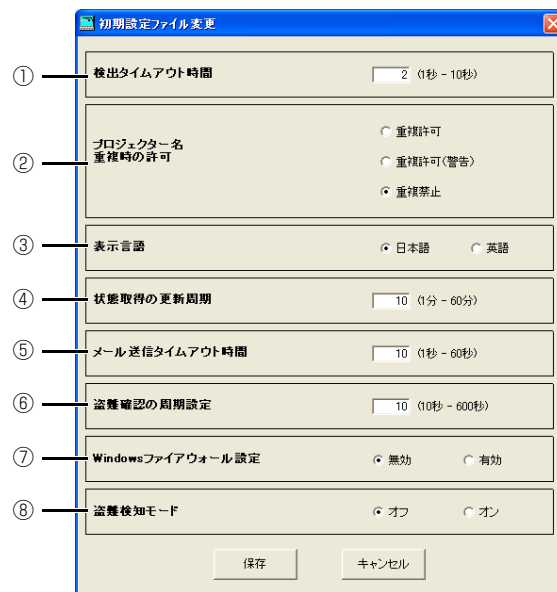
## 3. メイン画面について

### 3.1. システム設定をする

#### ① メイン画面のメニューバーの " 設定 " から " 初期設定ファイル変更 " を選択する



- "初期設定ファイル変更" ウィンドウが表示されます。(初期値は、下記表示例のようになっています。ただし、表示言語の初期値は英語になっておりますので日本語表示でお使いになる場合は Language 項目の「Japanese」を選択し設定を変更してください。)



項目	内容
① 検出タイムアウト時間	プロジェクターを検出するときのタイムアウトの時間を設定できます。1 秒～ 10 秒の間で、整数値で設定します。
② プロジェクター名重複時の許可	プロジェクター名の重複許可を選択できます。 重複許可： 重複を許可する 重複許可 (警告)： 重複を許可するが、警告を出す 重複禁止： 重複を禁止
③ 表示言語	表示言語を日本語もしくは英語で選択できます。
④ 状態取得の更新周期	プロジェクターの状態取得を行う周期を設定できます。1 分～ 60 分の間で、整数値で設定します。
⑤ メール送信タイムアウト時間	メールを送信する場合のタイムアウトの時間を設定できます。1 秒～ 60 秒の間で、整数値で設定します。
⑥ 盗難確認の周期設定	盗難検知を行う周期を設定できます。10 秒～ 600 秒の間で、整数値で設定します。
⑦ Windows ファイアウォール設定	Windows のファイアウォールの例外として設定できます。"有効" に設定すると、ファイアウォールの例外ソフトウェアとして設定できます。ただし、Windows 上で "例外を許可しない" を選択すると、当該設定は無効になります。詳しくは、Windows のマニュアルをご覧ください。
⑧ 盗難検知モード	この設定を "オン" にしておくと、盗難検知の機能をオフできます。IP アドレスの変更など、初期設定を行う場合にご利用ください。ProjectorView Global+ を再起動すると、アプリケーションは自動的に監視モードに戻ります。

#### ② 希望の設定に変更し、[ 保存 ] をクリックする

- 変更した設定を反映させるには、ProjectorView Global+ を再起動する必要があります。

# 4. プロジェクターを登録する

## 4.1. プロジェクターを ProjectorView Global+ に登録する

プロジェクターの登録手順は、前述の接続例により、手順が若干異なります。

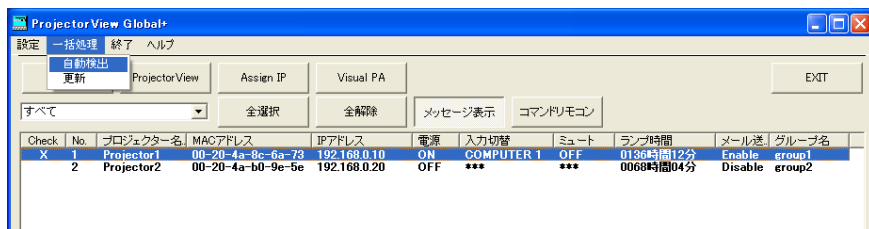
- 接続例 1、2（同じローカルネットワーク内にプロジェクターを設置）の場合、当該ネットワーク内のプロジェクターを自動検索し、登録します。詳しくは、下記の手順 A をご覧ください。
- 接続例 3（ルーターを経由してプロジェクターを設置）の場合、先にプロジェクターが設置されている IP アドレスの範囲を設定し、当該範囲を自動検索し、登録します。詳しくは、下記の手順 B をご覧ください。
- 接続例にかかわらず、自動検索を行わずに手動でプロジェクターを登録することもできます。詳しくは 12 ページの「プロジェクターを手動で登録する場合は」をご覧ください。
- 登録できるプロジェクターは、最大 200 台までです。
- 自動検索による登録直後のプロジェクターは、グループが未設定になっています。登録したプロジェクターがメイン画面のプロジェクターリストに表示されていない場合は、グループ選択プルダウンメニューから "全て" または "未設定" を選択してください。

### 手順 A – 接続例 1、2（同じローカルネットワーク内にプロジェクターを設置）の場合

#### ① ProjectorView Global+ を起動する

#### ② メイン画面のメニューバーの "一括処理" から "自動検出" を選択する

- LAN 接続しているプロジェクターが自動検索されます。



- 初回接続時にパスワード認証が必要です。プロジェクター本体等でパスワードが変更されると、再度パスワード認証が必要となります。

#### <注>

- PCのIPアドレスとプロジェクターのIPアドレスは同じネットワークグループになるように設定してください。(IPアドレスの最終オクテットは異なる数値にする必要があります。)
- 設定したIPアドレスは、必ずメモに残しておいてください。IPアドレスを忘れると、あとで検出できなくなる場合があります。
- 初期設定では、DHCP または Auto-IP (169.254.0.1 ~ 169.254.255.254) で IP アドレスが自動的に設定されます。但し、プロジェクターを起動すると IP アドレスが変わる可能性がありますので、通信できない場合は再度「自動検出」を行ってください。
- 検索後、プロジェクター本体で IP アドレスを変更した場合、再度「自動検出」を行ってください。
- プロジェクターの IP アドレスは固定の IP アドレスに設定することを推奨します。

## 4. プロジェクターを登録する

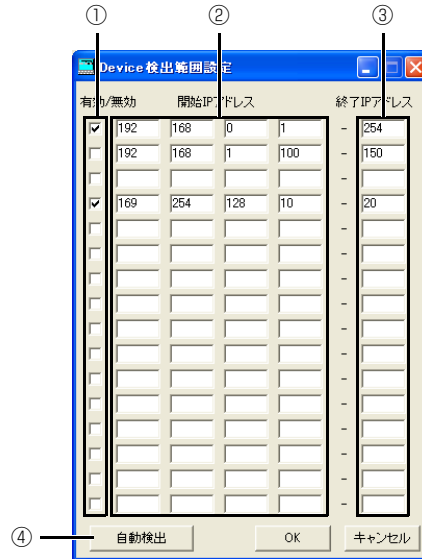
### 手順 B - 接続例 3 (ルーターを経由してプロジェクターを設置) の場合

ルーターを経由したプロジェクターを自動検索する場合、プロジェクター本体のネットワーク設定メニューで IP アドレスを確認し、「Device 検出範囲設定」でその IP アドレスの検索範囲設定を行ってください。

#### ① ProjectorView Global+ を起動する

#### ② メイン画面のメニューバーの " 設定 " から "Device 検出範囲設定 " を選択する

- "Device 検出範囲設定" ウィンドウが表示されます。



項目	内容
① 有効 / 無効	その行の検索範囲設定を有効にするかどうかを設定します。 (チェックを入れた行の設定が有効になります。)
② 開始 IP アドレス	検索範囲の開始 IP アドレスを設定します。 (IP アドレスの第 1 オクテットと最終オクテットに 1 ~ 254 の数値、第 2 オクテットと第 3 オクテットに 0 ~ 255 以外の数値が含まれる場合は、設定できません。)
③ 終了 IP アドレス	検索範囲の終了 IP アドレスの最終オクテットを設定します。 (設定数値に 1 ~ 254 以外の数値が含まれる場合は、設定できません。また、②の開始 IP アドレスの最終オクテットより前の数値を設定した場合は、設定できません。)
④ 自動検出	設定を保存したあと、プロジェクターの自動検索を行います。

#### ③ プロジェクターの検索範囲(②、③)を IP アドレスで設定し、有効にする検索範囲の " 有効 / 無効 " 欄 (①)にチェックを入れる

- 検索範囲は、最大 16 まで設定できます。(設定欄の各行ごとに設定できます。)

#### ④ 設定を保存する場合は [OK] を、続けてプロジェクターの検索を行う場合は [自動検出] をクリックする

- [OK] をクリックすると、検索範囲の設定が保存され、Device 検出範囲設定ウィンドウが閉じます。
- 検索範囲の設定を保存したくないときは、[キャンセル] をクリックして Device 検出範囲設定ウィンドウを閉じます。
- 設定を保存したあとメニューバーの "一括処理" から "自動検出" を選択すると、保存した検索範囲で自動検索ができます。
- 初回接続時にパスワード認証が必要です。プロジェクター本体等でパスワードが変更されると、再度パスワード認証が必要となります。

## 4. プロジェクターを登録する

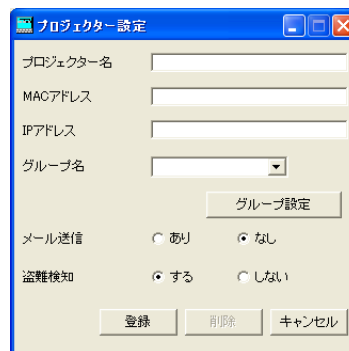
### <注>

- プロジェクターのデフォルトゲートウェイおよび PC のデフォルトゲートウェイを正しく設定してください。詳しくは、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 設定した IP アドレスおよびデフォルトゲートウェイは、必ずメモに残してください。設定値を忘れると、あとで検出できなくなる場合があります。
- 初期設定では、DHCP または Auto-IP (169.254.0.1 ~ 169.254.255.254) で IP アドレスが自動的に設定されます。但し、プロジェクターを起動することに IP アドレスが変わる可能性がありますので、通信できない場合は再度「自動検出」を行ってください。
- 検索後、プロジェクター本体で IP アドレスを変更した場合、再度「自動検出」を行ってください。
- プロジェクターの IP アドレスは固定の IP アドレスに設定することを推奨します。

### プロジェクターを手動で登録する場合は

#### ① メイン画面のメニューバーの " 設定 " から " プロジェクター ( 新規 ) " を選択する

- " プロジェクター設定 " ウィンドウが表示されます。



#### ② プロジェクター名、MAC アドレス、IP アドレス、所属グループ、盗難警告メール送信の可否、盗難検知のする／しないを設定する

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクター名を、半角英数字で 64 文字以内で入力します。
MAC アドレス	プロジェクターの MAC アドレスを入力します。入力形式は「XX-XX-XX-XX-XX-XX」です。
IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを入力します。
グループ名	所属グループをプルダウンメニューから選択します。 ( [グループ設定] をクリックすると、新しいグループを作成できます。→「6.1. プロジェクターのグループを作成する」をご覧ください。)
メール送信	盗難警告メール送信の可否を指定します。 (メールに関する設定を行う必要があります。→「7. メールを設定する」をご覧ください。)
盗難検知	盗難検知をする／しないを指定します。

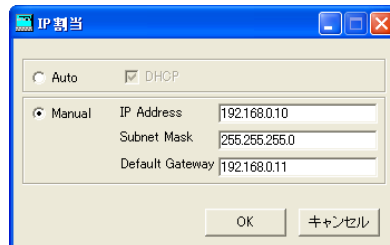
#### ③ [登録] をクリックする

## 4. プロジェクターを登録する

### 4.2. プロジェクターの IP 設定を変更する場合は

プロジェクターの IP 設定を変更できます。

- ① メイン画面のプロジェクターリストから、変更したいプロジェクターを選択する
- ② メイン画面のツールバーの [Assign IP] をクリックする
  - "IP 割当" ウィンドウが表示されます。



- ③ 自動割当を行う場合「Auto」を選択してDHCPにチェックを入れる。手動で割り当てる場合は「Manual」を選択し、IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力する

項目	内容
DHCP	DHCP サーバーによる IP 自動割当を行います。
IP Address	IP アドレスを入力します。
Subnet Mask	サブネットマスクを入力します。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイを入力します。

#### <注>

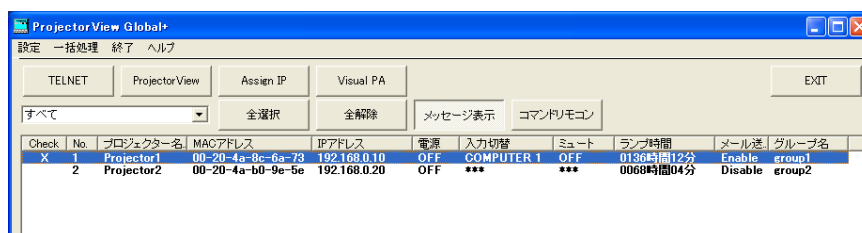
- プロジェクターの IP 変更後、盗難検知エラーダイアログが表示されることがあります。
- プロジェクターの IP 設定変更後、通信ができない場合は、「自動検出」を行って接続を確認してください。
- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイについてはネットワーク管理者にご相談ください。

### 4.3. プロジェクターの設定を変更する場合は

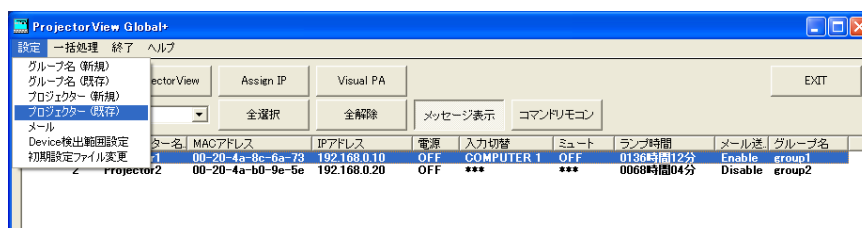
#### <注>

- 自動検索したプロジェクターの場合、MAC アドレス、IP アドレスは変更できません。

- ① メイン画面のプロジェクターリストから、変更したいプロジェクターを選択する

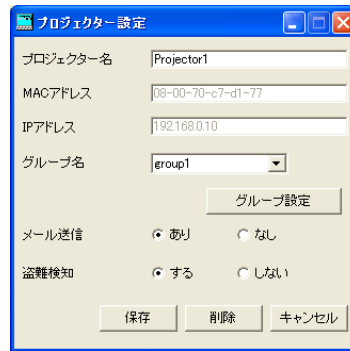


- ② メニューバーの "設定" から "プロジェクター (既存)" を選択する



## 4. プロジェクターを登録する

- " プロジェクター設定 " ウィンドウが表示されます。



### ③ プロジェクター名、所属グループ、盗難警告メール送信の可否、盗難検知のする／しないを設定する

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクター名を、半角英数字で 64 文字以内で入力します。
MAC アドレス	検索時に自動取得された MAC アドレスが表示されます。設定は変更できません。
IP アドレス	検出時に自動取得された IP アドレスが表示されます。ここでは、設定は変更できません。IP アドレスの変更が必要な場合は、[Assign IP] で行ってください。
グループ名	所属グループをプルダウンメニューから選択します。 ([グループ設定] をクリックすると、新しいグループを作成できます。→「6.1. プロジェクターのグループを作成する」をご覧ください。)
メール送信	盗難警告メール送信の可否を指定します。 (メールに関する設定を行う必要があります。→「7. メールを設定する」をご覧ください。)
盗難検知	盗難検知をする／しないを指定します。

右クリックメニューでも、プロジェクターの設定を変更できます。

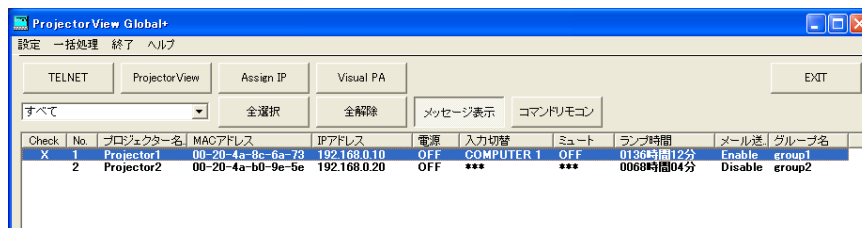
- グループ名 (新規) : 新しいグループの作成
- グループ一括割当 : 所属グループの変更
- メール設定 : メール設定の変更 (ON/OFF)
- 盗難検知設定 : 盗難検知設定の変更 (ON/OFF)



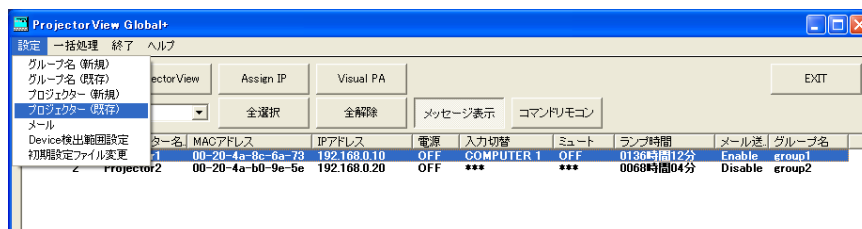
## 4. プロジェクターを登録する

### 4.4. プロジェクターの登録を削除する場合は

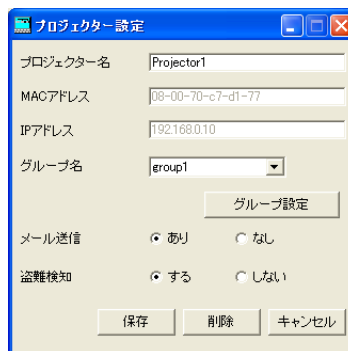
① メイン画面のプロジェクターリストから、削除したいプロジェクターを選択する



② メニューバーの " 設定 " から " プロジェクター ( 既存 ) " を選択する



- " プロジェクター設定 " ウィンドウが表示されます。



③ [ 削除 ] をクリックする

- 選択したプロジェクターが削除されます。

# 5. プロジェクターを操作する

## 5.1. リモートコントローラーを使って操作する

グループまたはプロジェクター単体で操作することができます。

### ① メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

- 複数のプロジェクターを同時に選択する場合は、Ctrl キーを押しながら選択してください。

### ② メイン画面のツールバーの [ コマンドリモコン ] をクリックする。または、操作したいプロジェクターが 1 台の場合は、メイン画面のプロジェクターリスト上で操作したいプロジェクターをダブルクリックする

- " コマンドリモコン " ウィンドウが表示されます。



### ③ ウィンドウ上の各操作ボタンを選択して、プロジェクターを操作する

コマンド	ボタン	操作内容
状態取得	全取得	プロジェクターの状態を取得します。
電源	電源 ON	プロジェクターの電源を ON します。
	電源 OFF	プロジェクターの電源を OFF します。
入力切替	COMPUTER1	入力信号を COMPUTER 1 に変更します。
	COMPUTER2	入力信号を COMPUTER2 に変更します。
	VIDEO	入力信号を VIDEO に変更します。
	S-VIDEO	入力信号を S-VIDEO に変更します。
	DIGITAL1	入力信号を DIGITAL 1 に変更します。
	DIGITAL2	入力信号を DIGITAL2 に変更します。
	NETWORK	入力信号を NETWORK に変更します。
ミュート	ミュート ON	ミュート状態に設定します。
	ミュート OFF	ミュート状態を解除します。 (ミュートについてはプロジェクター本体の取扱説明書をご参照ください。)
閉じる		" コマンドリモコン " ウィンドウを閉じます。

#### <注>

- 操作が完了するまでは、次の操作は行えません。
- プロジェクターの状態を再取得 (リフレッシュ) 中は、操作を行うことはできません。
- プロジェクターの状態の取得には、時間がかかる場合があります。
- Power OFF の状態では、入力切替とミュート状態を検知することはできません。
- プロジェクターの機種により、対応する入力切替の種類が異なります。プロジェクターが対応していない入力切替は選択できません。

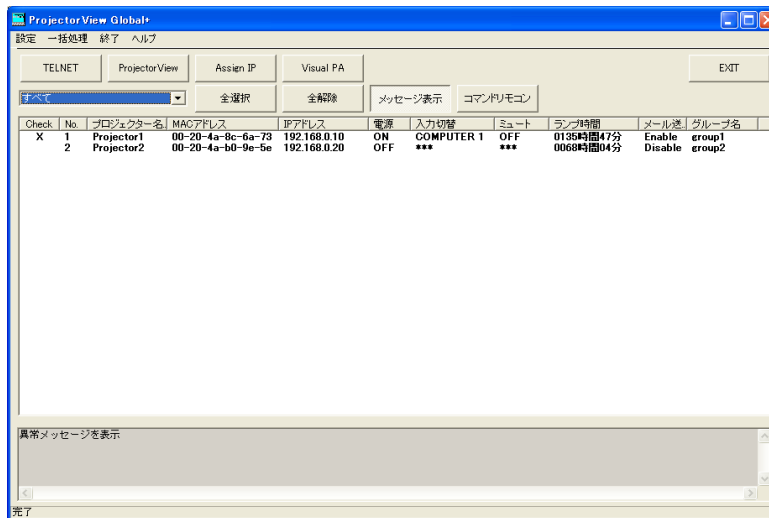


## 5. プロジェクターを操作する

### 5.2. プロジェクターの状態を確認する

プロジェクターの状態（ステータス）を確認できます。

プロジェクターの状態は、メイン画面のプロジェクターリスト中に表示されています。



項目名	内容
Check	盗難検知設定 (ON/OFF)
No.	プロジェクターリスト登録番号
プロジェクター名	アプリケーション内で設定したプロジェクター名
MAC アドレス	プロジェクターの MAC アドレス
IP アドレス	プロジェクターの IP アドレス
電源	プロジェクターの電源状態 (ON/OFF)
入力切替	プロジェクターの入力信号 (COMPUTER1/COMPUTER2/VIDEO/S-VIDEO/DIGITAL1/DIGITAL2/NETWORK)
ミュート	プロジェクターのミュート状態 (ON/OFF)
ランプ時間	ランプ点灯時間 (HHHH:MM)
メール送信	メール送信機能の設定 (Enable/Disable)
グループ名	プロジェクターの所属グループ

- プロジェクターの状態は、定期的に自動で再取得（リフレッシュ）されますが、ユーザーの指示により、現在の状態を取得することもできます。メイン画面のメニューバーの "一括取得" から "更新" を選択すると、各プロジェクターの電源、入力切替、ミュート、ランプ時間の状態が再取得されます。
- Power OFF の状態では、入力切替とミュート状態を検知することはできません。
- プロジェクターリストのステータスタグをクリックすると、リストを並べ替える（ソートする）ことができます。再度押しと逆順に並べ替えます。
- ツールバーの [全選択] をクリックすると、プロジェクターリスト内の全プロジェクターが選択状態となります。また、ツールバーの [全解除] をクリックすると、プロジェクターリスト内の全プロジェクターが未選択状態になります。
- プロジェクターの状態取得により何らかのプロジェクターの異常状態を検知した場合は、画面下部のエラーメッセージ表示欄に、エラーメッセージを表示します。  
エラーメッセージは、表示 / 非表示を選択することができます。ツールバーの [メッセージ表示] をクリックすると、メイン画面下部のエラーメッセージ表示欄の表示 / 非表示が切り替わります。

#### <注>

- 自動再取得の周期の初期値は、10分です。変更する場合は「3.1. システム設定をする」をご覧ください。
- 多数のプロジェクターが接続されている場合は、状態取得に時間がかかる場合があります。状態取得中は、メイン画面下部のステータスバーが "状態更新中..." となり、取得完了時に "完了" となります。

# 6. スケジュールを設定する

## 6.1. プロジェクターのグループを作成する

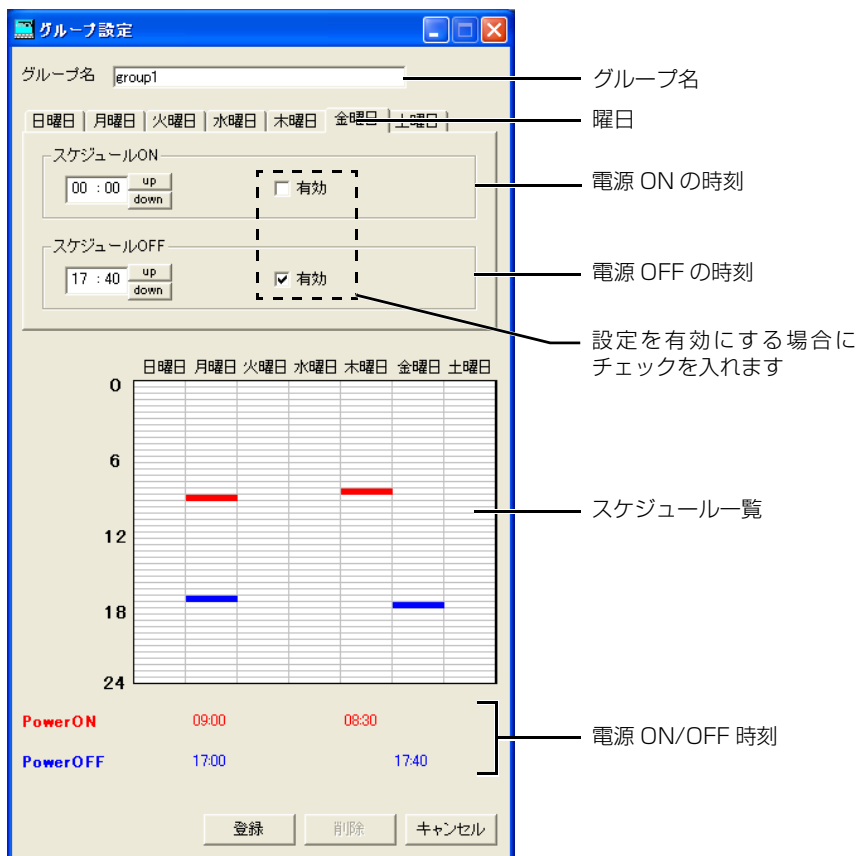
複数のプロジェクターをグループにまとめて、一括制御することができます。

また、各グループでは、曜日ごとに電源 ON/OFF の時刻を設定できます。

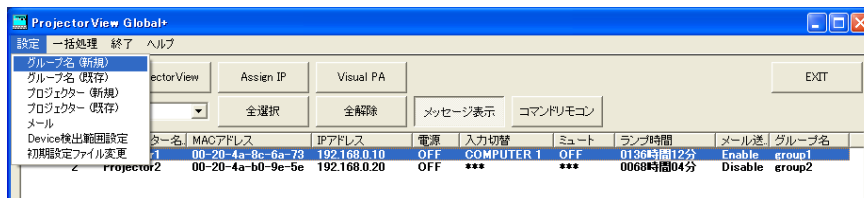
電源 ON/OFF のスケジュールはグループ単位で行われますので、同じスケジュールで稼働させたいプロジェクターを、同一グループにまとめてください。

設定を有効にすると、スケジュール一覧に電源 ON/OFF の時刻設定内容が表示されます。

(例) グループ "group1" に対して、月曜日の 9:00 に電源 ON して同じ曜日の 17:00 に電源 OFF、木曜日の 8:30 に電源 ON して金曜日の 17:40 に電源 OFF する時刻設定をするとき。



### ① メニューバーの "設定" から "グループ名 (新規)" を選択する



- "グループ設定" ウィンドウが表示されます。

### ② "グループ名" 欄に、作成するグループ名を入力する (半角英数記号で 16 文字以内)

### ③ 電源 ON/OFF 時刻を設定する曜日を選択する

### ④ 電源 ON 時刻を設定する場合のみ、"スケジュール ON" 欄で電源 ON 時刻を設定し、"有効" にチェックを入れる

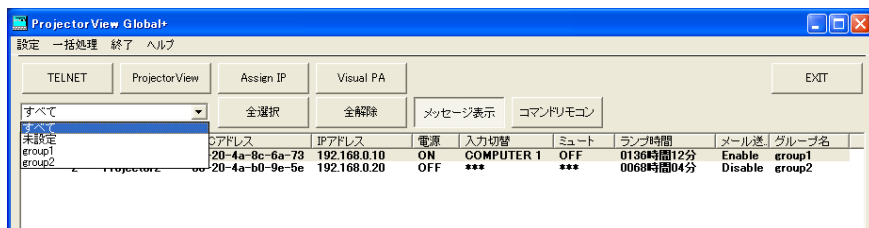
### ⑤ 電源 OFF 時刻を設定する場合のみ、"スケジュール OFF" 欄で電源 OFF 時刻を設定し、"有効" にチェックを入れる



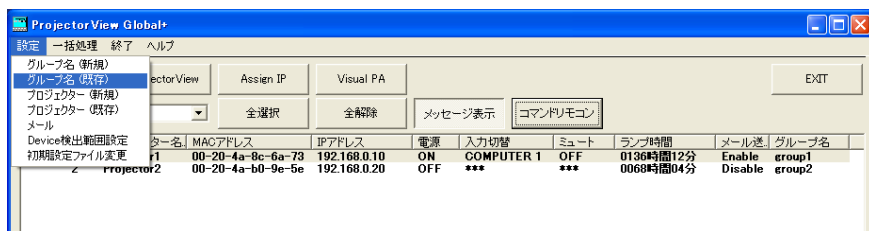
## 6. スケジュールを設定する

### 6.3. グループを削除する場合は

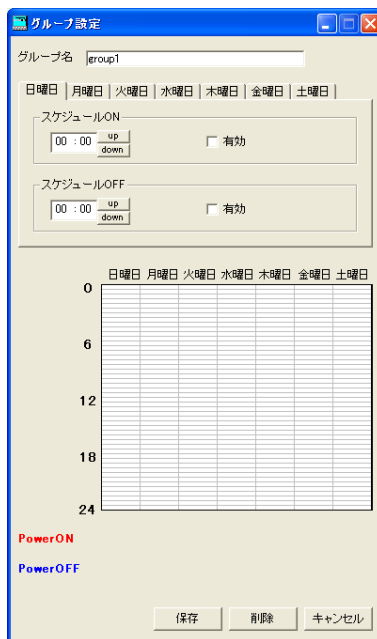
① メイン画面のグループ選択プルダウンメニューから、削除したいグループを選択する



② メニューバーの "設定" から "グループ名 (既存)" を選択する



- "グループ設定" ウィンドウが表示されます。



③ [削除] をクリックする

- 選択したグループが削除されます。

<注>

- グループを削除すると、該当グループに所属していたプロジェクターは、どのグループにも未所属になります。グループ設定ウィンドウで改めて所属グループを設定し直してください。

# 7. メールを設定する

盗難検知対象に設定しているプロジェクターとの通信が途絶えた場合は、指定したアドレスに警告メールを送信することができます。プロジェクター盗難の早期検知に役立てることができます。

なお、メール設定はプロジェクターごとやグループごとに設定することはできません。すべてのプロジェクターで同一の設定となります。

## 7.1. メールサーバーと接続する

ProjectorView Global+ が動作しているコントローラー PC およびプロジェクターが接続されているネットワークに、メールサーバーを接続してください。

## 7.2. メールの設定を行う

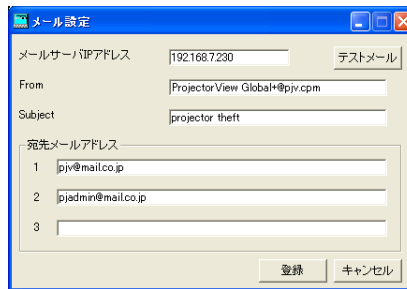
メールサーバーのアドレスや、メール送信先のアドレスを指定します。

<注>

- ネットワーク環境については、ネットワーク管理者にご確認ください。

### ① メイン画面のメニューバーの " 設定 " から " メール " を選択する

- " メール設定 " ウィンドウが表示されます。



### ② ネットワーク環境に合わせて設定項目を入力し、[ 登録 ] をクリックする

項目名	内容
メールサーバ IP アドレス	メールサーバーの IP アドレス (例: 192.168.7.230) を入力します。 またはドメイン名 (例: mail.example.com) を入力します。
From	メールヘッダーの From 欄に記載される文字列を入力します。
Subject	メールヘッダーの Subject 欄に記載される文字列を入力します。
宛先メールアドレス	メール送信先の IP アドレスを、半角 65 文字以内で入力します。 (最大3カ所まで指定可能)

## 7.3. テストメールを送信する

メール設定ウィンドウの各項目の設定を完了後、メール送信先へ正しくメールが送信されるか、テストメールを発行することができます。メール設定ウィンドウの右上の [ テストメール ] をクリックすると、テストメールが発行されます。メール送信先に設定したアドレスに、正しくメールが届いているか確認してください。

<注>

- テストメールが正しく受信できなかった場合は、メールサーバーアドレスとメール送信先のアドレス、およびネットワークの接続状態を確認してください。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- メールサーバーの認証機能により、メール不達になる可能性があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 登録しているプロジェクターとの通信が途絶えた場合、盗難確認エラーダイアログが出ます。ただし、プロジェクターリストの表示は、更新に時間がかかりますので、同時には更新されません。

# 8. ProjectorView

ProjectorView とは Web ブラウザーを用いたプロジェクターの状態制御・監視ツールです。

ご使用のプロジェクターが 31 ページに記載されている機種の場合は、本体に同梱されている「LAN 制御 UTILITY」操作説明書の ProjectorView の項をご参照ください。

## 8.1. 主な機能

- プロジェクターの各種状態表示 ( プロジェクター名、温度、ランプ使用時間、エラー / 警告等 )
- プロジェクターの各種制御 ( 電源、入力切替、ランプモード 等 )
- エラー / 警告発生時の E-mail 通知

## 8.2. ProjectorView を起動する

### ① メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

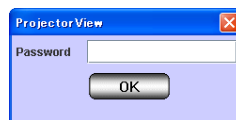
- ProjectorView の起動は 1 台ずつ行ってください。同時に複数のプロジェクターに対して起動することはできません。

### ② メイン画面のツールバーの [ProjectorView] をクリックする

- Web ブラウザーが起動し、パスワード入力ウィンドウが表示されます。

#### <注>

- 直接 Web ブラウザーの URL 入力欄に http://《プロジェクターの IP アドレス》を入力しても起動できます。
- プロキシサーバーを使用している場合、この IP アドレスにアクセスするときはプロキシを有効にしないでください。
- 1 台のプロジェクターに対して、制御できる ProjectorView は 3 台です。



### ③ パスワードを入力し、[OK] を押す (パスワードの初期設定 : admin)

- ProjectorView メイン画面が表示されます。

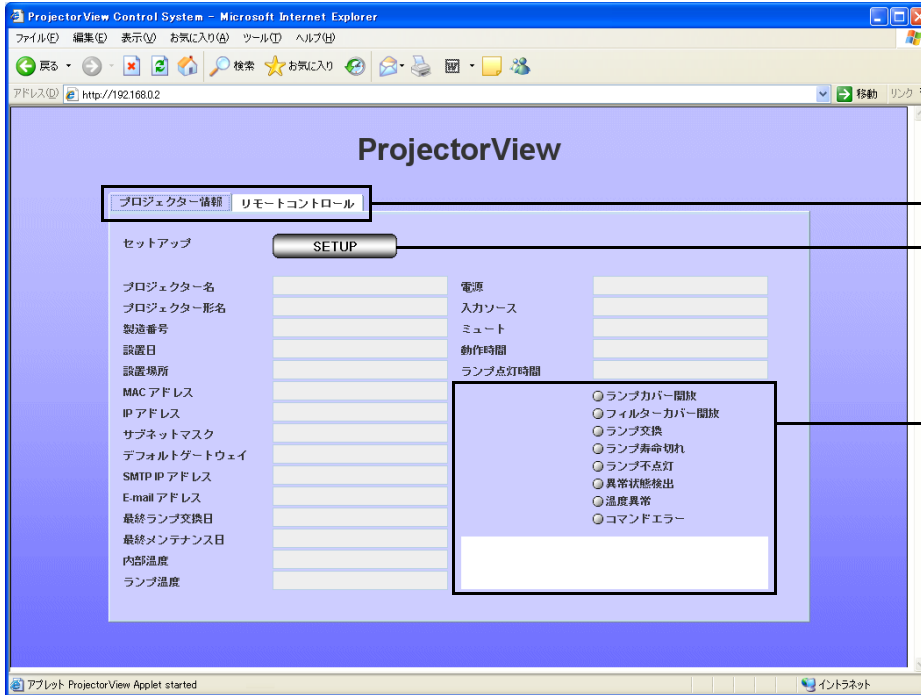
#### <注>

- パスワード入力ウィンドウが表示されてから 5 分以上経過すると、接続が切断され、パスワード入力を受け付けません。この場合、ProjectorView を再起動してください。

## 8. ProjectorView

### ■ ProjectorView メイン画面 ( プロジェクター情報 )

「プロジェクター情報」をクリックすると、プロジェクター情報画面が表示されます。プロジェクター情報を表示させるには、SETUP ウィンドウで必要な情報を入力します。



「プロジェクター情報」をクリックすると左記の画面が表示され、「リモートコントロール」をクリックするとメイン画面(リモートコントロール)が表示されます。

ボタンを押すと、SETUP ウィンドウが表示されます。

プロジェクターに不具合が発生すると警告ランプが赤に点灯します。不具合内容にカーソルを移動させると、下枠内に詳細説明が表示されます。

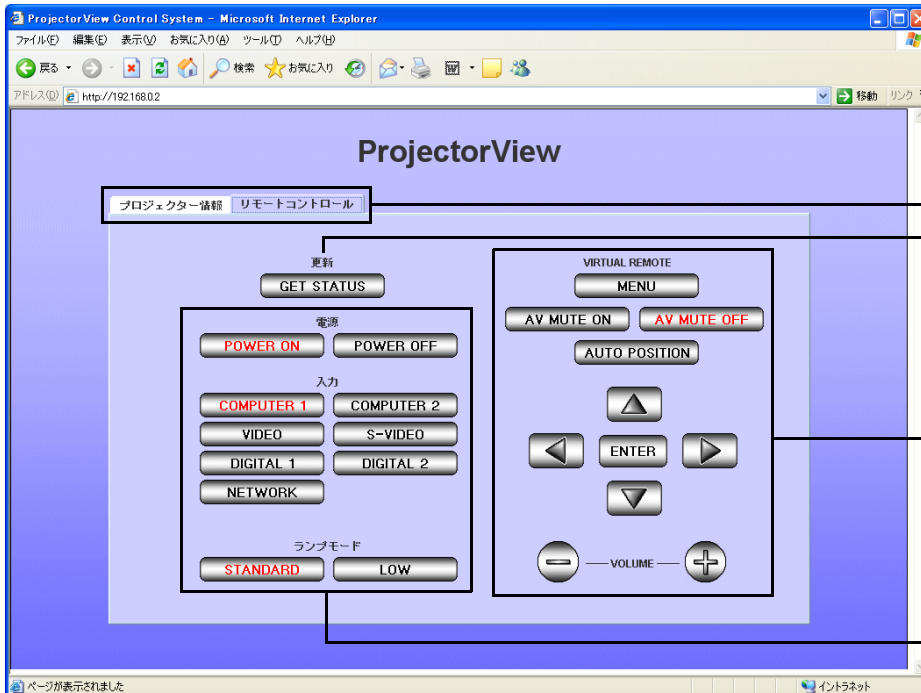
<注>

ミュート中はランプモードを変更できません。変更しようとするするとコマンドエラーの警告ランプが点灯します。

### ■ ProjectorView メイン画面 ( リモートコントロール )

「リモートコントロール」をクリックするとプロジェクター制御用のリモートコントロール画面が表示されます。各種ボタンを押して制御を行います。

赤文字になっているボタンが現在のプロジェクターの状態を表しています。画面の表示は定期的な自動更新、または「GET STATUS」ボタンを押下することで更新されます。



「リモートコントロール」をクリックすると左記の画面が表示され、「プロジェクター情報」をクリックするとメイン画面(プロジェクター情報)が表示されます。

プロジェクターの状態を取得します。同時に画面も更新されます。

<注>

画面の更新には少し時間がかかることがあります。

仮想リモコンの制御ボタンです。機能については、プロジェクターの取扱説明書のリモコンのボタンキーの詳細を参照してください。

電源・入力・ランプモードについて希望のボタンを押すと、プロジェクターの制御ができます。

## 8. ProjectorView

### メール通知機能

プロジェクター本体に警告 / 異常状態が発生した場合には、指定したアドレスにメールを自動送信し、その状態をお知らせするメール通知機能があります。

この機能を使用するには、Setup ウィンドウの設定項目の SMTP IP アドレス、E-mail アドレス、E-mail ホスト名、E-mail 差出人を設定します。(「8.3. プロジェクター情報を設定する」を参照)

一旦、上記設定を行うと、Web ブラウザー (ProjectorView 画面) を閉じてもメール通知機能は有効です。

### 送信メールの一例 : ランプ寿命切れ警告の場合

ProjectorView Alert:

ランプの交換時期が過ぎてます。ランプを交換して、使用時間をリセットしてください。詳しい方法は取扱説明書を参照してください。

プロジェクター名 : abc

プロジェクター形名 : XY1234

設置場所 : 10Factory-5F

製造番号 : 123456789

動作時間 : 2146 時間, 43 分

ランプ点灯時間 : 5000 時間, 0 分

設置日 : 2008/01/01

最終ランプ交換日 : 2008/01/01

最終メンテナンス日 : 2008/01/01

ご使用のプロジェクターにより、「プロジェクター形名」と「製造番号」が表示されない場合があります。

#### <注>

- コマンドエラー時、メール送信は行いません。
- 本機のメイン電源投入後、約 10 秒間は LAN/ シリアル RS-232C コマンド制御はできません。
- LAN 制御と RS-232C 制御が同時に行われた場合、LAN 制御が優先されます。
- テストパターン表示中やパスワード入力中、ランプモード切替と MUTE の ON,OFF は動作しません。
- プロジェクター本体の動作状態によって応答が遅れる場合があります。
- DHCP モードでは、特定の機器 (ルーターなど) では動作しないことがあります。
- 電源 ON/OFF ボタンの実行後、約 1 分間は他のコマンドは受け付けません。
- メールは、警告 / 異常状態が発生したときと、発生してから 2 時間後の 2 回発信されます。

## 8.3. プロジェクター情報を設定する

### ① ProjectorView メイン画面 (プロジェクター情報) の [SETUP] ボタンを押す

- SETUP ウィンドウが表示されます。

#### <注>

- SETUP ウィンドウが表示されてから 5 分以内に設定項目を入力・変更し、[OK] ボタンを押下してください。5 分以上経過しますと、接続が切断され、変更した内容が反映されません。この場合、SETUP ウィンドウを一旦閉じ、再度メイン画面 (プロジェクター情報) から SETUP ウィンドウを開いて変更し直してください。



## 8. ProjectorView

② 各設定項目の説明に従い入力してください。また、メール機能の ON/OFF、ProjectorView 画面の表示言語設定、PJLink 認証有無や ProjectorView 及び PJLink で使用するパスワードの設定、ネットワーク設定の初期化を行います

<注>

- 表示言語設定を変更した場合、変更した設定を反映させるには ProjectorView を再起動する必要があります。

各設定項目について、以下に説明します。

項目	内容
プロジェクター名	プロジェクターを識別するための名前
設置日 <sup>*1</sup>	プロジェクターの設置日
設置場所 <sup>*1</sup>	プロジェクターの設置場所
SMTP IP アドレス <sup>*2</sup>	E-mail 送信に使用される SMTP サーバーの IP アドレス (例: 192.168.0.1)
E-mail アドレス <sup>*1</sup>	警告メールを受け取る E-mail アドレス (例: administrator@xxx.xxx.xxx) (最大 64 文字)
E-mail ホスト名 <sup>*3</sup>	メールのインターネットヘッダーに表示される任意の文字列 (例: user)
E-mail 差出人 <sup>*1</sup>	警告メール発信元 (例: PJView@xxx.xxx.xxx)
最終ランプ交換日 <sup>*1</sup>	新しいランプを設置した日
最終メンテナンス日 <sup>*1</sup>	メンテナンスした日
メール機能	エラーメール送信設定の ON/OFF
言語設定	ProjectorView 表示言語設定 (日本語 / 英語) の切換
PJLink 認証設定	PJLink 認証設定の ON/OFF
パスワード設定	パスワード設定画面へ ⇒ (「8.4. パスワードを設定する」を参照)
ネットワーク初期化	ネットワーク初期化確認画面へ ⇒ (「8.5. ネットワーク設定を初期化する」を参照)

\*1 半角英数字および記号 (+ - / = \* \_ ! ? . , : ; # \$ % & ( ) | < > [ ] { } " ' @) のみ使用してください。

\*2 半角数字および記号 (.) のみ使用してください。

\*3 半角英数字および記号 (- .) のみ使用してください。

<注>

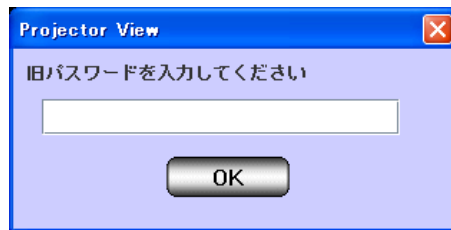
- プロジェクターのランプモードを「標準」にした場合、動作時間よりランプ点灯時間が長く表示されることがあります。

## 8. ProjectorView

### 8.4. パスワードを設定する

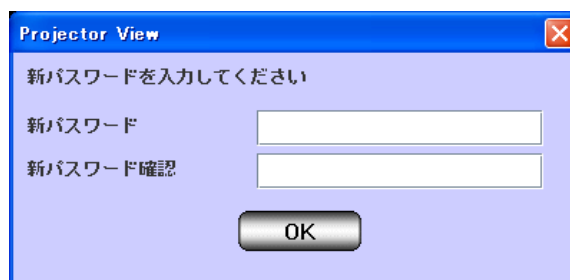
#### ① SETUP 画面で [PASSWORD] ボタンを押す

- 現パスワード入力ウィンドウが表示されます。



#### ② 現パスワードを入力し、[OK] を押す (パスワードの初期設定 : admin)

- 入力したパスワードが正しければ、続けて新パスワード入力ウィンドウが表示されます。
- パスワードを間違えた場合、SETUP ウィンドウへ戻ります。



#### ③ 新パスワードと確認用のパスワードを入力し、[OK] を押す

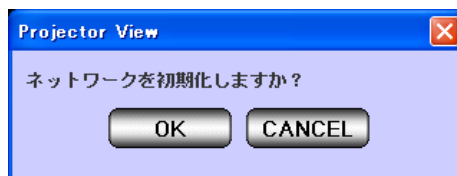
- 新パスワードと確認用パスワードが一致したら設定を反映して終了します。
- 入力内容が一致していない場合、エラーウィンドウが表示され、SETUP ウィンドウへ戻ります。

### 8.5. ネットワーク設定を初期化する

ネットワーク設定の初期化を実施すると「8.3. プロジェクター情報を設定する」の各種設定項目やメール機能・言語設定・PJLink 認証設定・パスワード設定が初期化されます。初期化される情報は以下の通りです。(各種設定項目 : [空白]、メール機能 : OFF、言語設定 : 英語、PJLink 認証設定 : ON、パスワード : admin[初期設定])

#### ① SETUP 画面で [RESET] ボタンを押す

- ネットワーク初期化確認ウィンドウが表示されます。



#### ② ネットワーク設定を初期化する場合、[OK] ボタンを押す

- [CANCEL] ボタンを押した場合、ネットワーク設定を初期化せずに終了します。

# 9. Visual PA (対応プロジェクターのみ)

Visual PA は、プロジェクターにメッセージを表示する機能です。

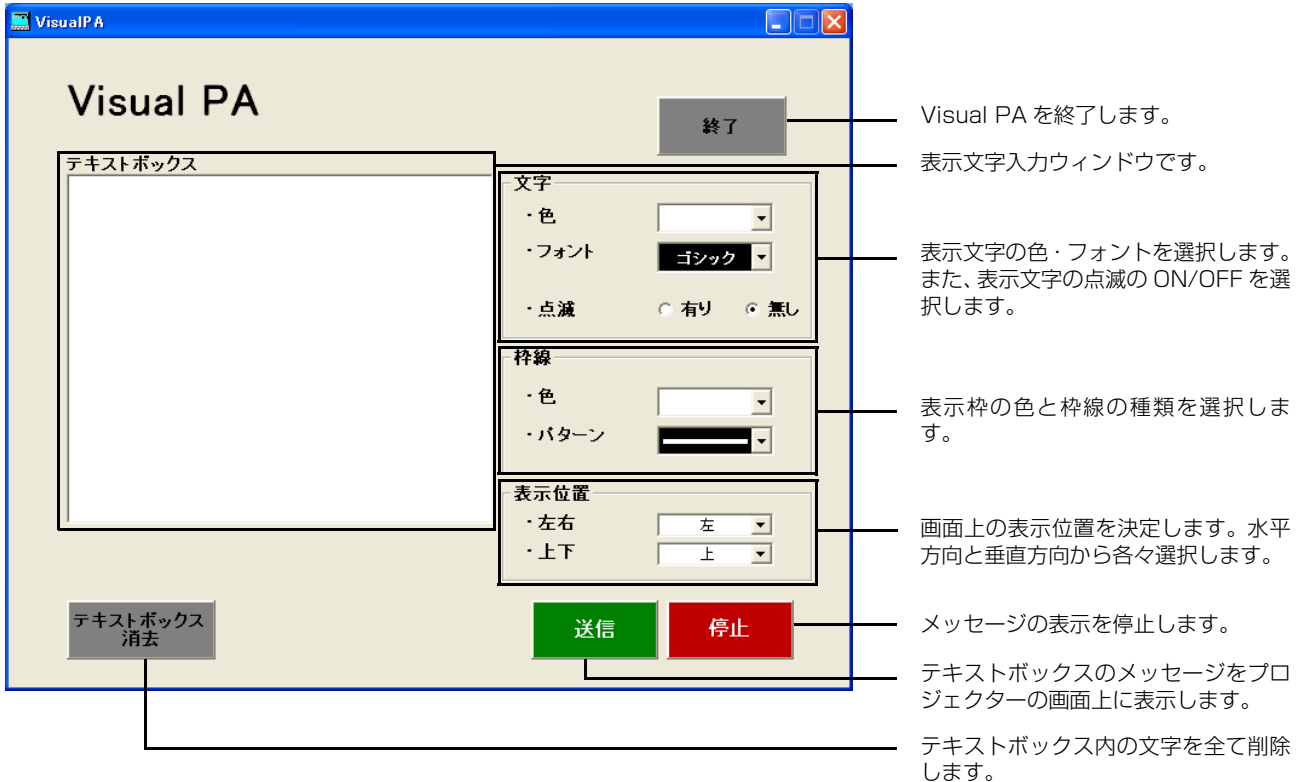
動作中の全プロジェクターが対象となります。

本機能は、31 ページに記載されているプロジェクターでは、動作しません。

## 9.1. Visual PA を起動する

### ① メイン画面のツールバーの [Visual PA] をクリックする

- "Visual PA" ウィンドウが表示されます。



### ② 文字・枠・表示位置の設定を行い、テキストボックスに文字を入力した後、[送信] ボタンを押す

- Visual PAで使用できる文字は半角英数字(スペースも含む)および記号(! " # \$ % & ( ) + , - \_ / : ; < = > ? @ [ ])です。

### ③ 表示を停止する場合、[停止] ボタンを押す

<注>

- メッセージを表示させたまま「Visual PA」を終了した場合、プロジェクターとの通信エラーが発生し、エラーウィンドウが表示されることがあります。その場合は再度「Visual PA」を起動し、[停止] ボタンを押してください。

# 10. Telnet による設定をする（対応プロジェクターのみ）

ここでは、Web ブラウザーによるプロジェクターの状態制御 / 監視ツール ProjectorView、および業界標準の PJLink プロトコルを利用した状態管理ツールで使用されるパスワードの設定（共通）、ProjectorView 画面の表示言語の設定、LAN 制御有無の設定、PJLink 認証有無の設定を行います。

31 ページに記載されているプロジェクター以外は動作しません。ProjectorView から設定してください。

## <注>

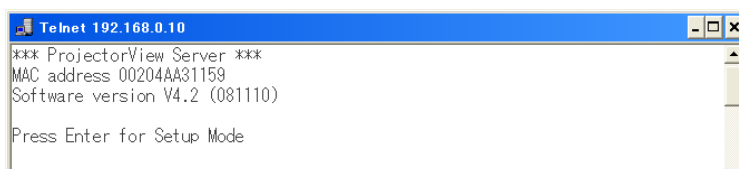
- Windows Vista をお使いになっている場合、初期設定では Telnet 機能は無効になっております。Telnet 機能をお使い頂くには、[コントロールパネル] の [プログラムと機能] の左側に表示されるタスクから「Windows の機能の有効化または無効化」を選択し、機能一覧の中の「Telnet クライアント」を有効にしてください。

## ① メイン画面のプロジェクターリストから、操作したいプロジェクターを選択する

- Telnet による設定は 1 台ずつ行ってください。複数のプロジェクターを同時に設定することはできません。

## ② メイン画面のツールバーの [Telnet] をクリックする

- コマンドプロンプトが起動します。
- Telnet に対応していないプロジェクターは、エラーメッセージが表示されます。ProjectorView から設定を行ってください。



```
Telnet 192.168.0.10
*** ProjectorView Server ***
MAC address 00204AA31159
Software version V4.2 (081110)
Press Enter for Setup Mode
```

## ③ 上記画面が表示されたら、[Enter] キーを押す

### <注>

- [Enter] キーは 5 秒以内に押してください。5 秒以上経過しますと接続が切断されキーを受け付けません。この場合には一旦コマンドプロンプトを終了し、再起動してください。

## ④ 設定メニューが表示されます



```
Telnet 192.168.0.10
*** ProjectorView Server ***
MAC address 00204AA31159
Software version V4.2 (081110)
Press Enter for Setup Mode

*** basic parameters
Hardware: Ethernet TPI
IP addr 192.168.0.10, no gateway set

Application version V4.2
***** Channel 1 *****
Baudrate 9600, I/F Mode 4C, Flow 00

Change Setup:
 0 Password Setup
 1 language
 3 LAN-Controlled Mode
 5 PJLink certification Mode
 7 factory defaults
 8 exit without save
 9 save and exit
Your choice ? 0
```

Telnet による設定方法の詳細については、プロジェクター本体に同梱されている「LAN 制御 UTILITY」操作説明書をご参照ください。

# 11. PJLink

## 11.1. PJLink について

プロジェクター制御用の標準プロトコルである PJLink は異なるメーカー間、機種間であっても、同一のアプリケーションを用いてプロジェクターの制御 / 監視を行うことができます。

この機能を使用するには、PJLink 認証 ON/OFF 設定を適当な値にセットします。(25、28 ページ参照)  
(使用する PJLink アプリケーションの認証有無設定と合わせます。)

### 対応コマンド

PJLink プロトコルでプロジェクターを制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考 (パラメーター)
POWR	電源制御	0 = スタンバイ 1 = 電源「入」
POWR?	電源状態問合せ	0 = スタンバイ 1 = 電源「入」 2 = クーリング中 3 = ウォームアップ中
INPT* <sup>1</sup>	入力切り替え	1 1 = COMPUTER1 1 2 = COMPUTER2
INPT?* <sup>1</sup>	入力切り替え問合せ	2 1 = VIDEO 2 2 = S-VIDEO 3 1 = DIGITAL1 3 2 = DIGITAL2 5 1 = NETWORK ※機種によって入力数は異なります。
AVMT	ミュート制御	3 0 = 映像と音声のミュート解除
AVMT?	ミュート状態問合せ	3 1 = 映像と音声のミュート
ERST?	エラー状態問合せ	1 バイト目: ファンエラーを意味し、0 または 2 2 バイト目: ランプエラーを意味し、0 ~ 2 のいずれか 3 バイト目: 温度エラーを意味し、0 または 2 4 バイト目: カバーオープンエラーを意味し、0 または 2 5 バイト目: 0 固定 6 バイト目: その他のエラーを意味し、0 または 2 ※0 ~ 2 の各意味は以下のとおり。 0 = エラーを検知していない 1 = 警告 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問合せ	1 つ目の数字 (1 ~ 5 桁): ランプ積算時間 (ランプモードを「低」にした場合の時間で換算したランプ使用時間が表示されます。) 2 つ目の数字: 0 = ランプ消灯 1 = ランプ点灯
INST?* <sup>1</sup>	入力切り替え一覧問合せ	下記の値を応答します。 "11 12 21 22 31 32 51" ※機種によって入力数は異なります。
NAME?	プロジェクター名問合せ	ProjectorView Setup ウィンドウのプロジェクター名で設定した名称を応答します。
INF1?	メーカー名問合せ	"MITSUBISHI" と応答します。
INF2?* <sup>2</sup>	機種名問合せ	機種名を応答します。ただし、機種によっては応答をしません。
INFO?	その他情報問合せ	その他情報はありません。応答のパラメーターは無しです。
CLSS?	クラス情報問合せ	"1" と応答します。

\*<sup>1</sup> [LVP-XD250/LVP-XD280] では、"11 12 21 22 31" に対応しています。

\*<sup>2</sup> [LVP-XD250/LVP-XD280] では、機種名は応答しません。

LAN 端子装備の三菱電機製プロジェクターは、JBMA PJLink クラス 1 の規格に適合しています。PJLink クラス 1 で定義されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink 標準仕様バージョン 1.0 で適合を確認しています。

## 11. PJLink

---

### <注>

- 以下の状態のときなどで上記制御動作 / 監視データがうまく動作 / 取得できないことがあります。
  - スタンバイ時
  - 入力切り換え中
  - コマンドの処理中
  - AUTO POSITION 実行中
  - AV ミュート中
  - 電源を入れた後、スプラッシュスクリーンが解除されるまでの間
- AV ミュート中などのとき、コマンドの返答に 5 秒ほどかかる場合があります。
- 1 台のプロジェクターに対して、1 台のコントローラーで制御 / 監視を行ってください。
- 実際の PJLink による制御 / 監視の方法については、お使いになる PJLink アプリケーションの使用説明書を参照してください。
- 本機能を用いてプロジェクターの監視を行う場合、状態問い合わせを連続で実施するときは、プロジェクターの返信を待ってから次の問い合わせを実施してください。
- PJLink の仕様に関しては、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMA) の Web サイトを参照してください。URL <http://pjlink.jbma.or.jp/>
- 対応コマンドに関しては、それぞれの機種で異なります。「12.2. 対応プロジェクターについて」に記載されている機種の対応コマンドについてはプロジェクター本体に同梱されている「LAN 制御 UTILITY」操作説明書をご参照ください。

# 12. その他

## 12.1. 故障かな？と思ったときは

- **プロジェクターが認識できない。**  
ファイアウォールの設定により、プロジェクターを自動認識できない場合があります。その場合、ProjectorView Global+の通信を、ファイアウォールに例外として登録する必要があります。ファイアウォールの設定については、ファイアウォールを設定するソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- **リモコンによる操作がうまく反映されない。**  
直前の操作が完了するまで、操作ができないことがあります。しばらく時間をおいてから、再度操作してください。また、IP アドレスなどのネットワーク設定が正しいかどうかを確認してください。
- **アプリケーションが " 応答なし " となることがある。**  
自動ステータス取得などの処理は時間がかかることがあるため、その間はアプリケーションを操作できず、" 応答なし " と表示されることがあります。処理が終了するまで、しばらくお待ちください。
- **アプリケーションが操作できないときがある。**  
プロジェクターの状態取得中は操作できません。プロジェクターの状態取得は、プロジェクターの主電源が入っていなかったり、実際に設置されていないプロジェクターが登録されていたりすると、タイムアウトを待つため、時間が長くなります。このような場合、不要なプロジェクターを登録から削除すると、取得時間を短くすることができます。
- **プロジェクターを制御できない。プロジェクターの状態が見えない。**  
セットアップ画面で " ネットワーク初期化 " もしくは、Telnet で "7 factory defaults" を試してください。ただし、プロジェクターの設定が初期値に戻りますので、再度設定が必要になります。

## 12.2. 対応プロジェクターについて

- 下記プロジェクターは、"Telnet" に対応しております。詳細はプロジェクター本体に同梱されている「LAN 制御 UTILITY」操作説明書をご参照ください。
- 下記プロジェクターは、"Visual PA" に対応しておりません。
- 下記プロジェクターで ProjectorView を御使用の際は、プロジェクター本体に同梱されている「LAN 制御 UTILITY」操作説明書をご参照ください。

LVP-XD2000, LVP-XD1000, LVP-XL650, LVP-WL639, LVP-XL2550, LVP-MH2850, LVP-FL7000, LVP-WL6700, LVP-XL6600, LVP-XD3200, LVP-WD3300
---